

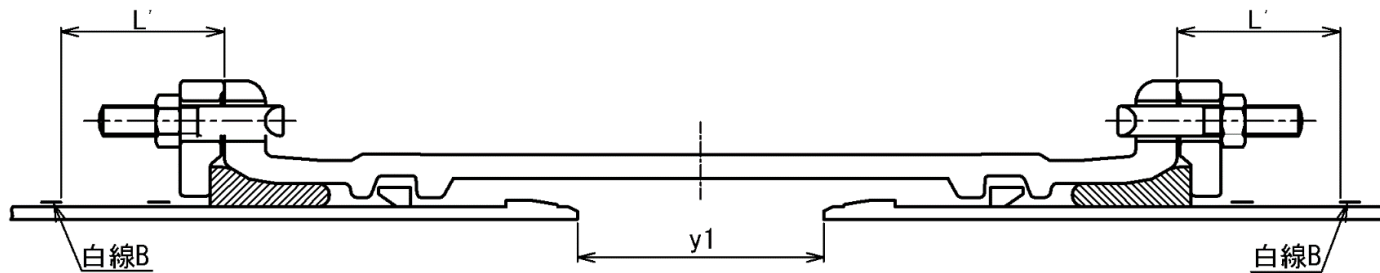
作成参考例

# GX形継手 継ぎ輪チェックシート

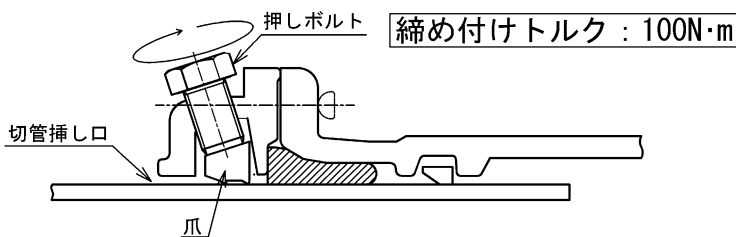
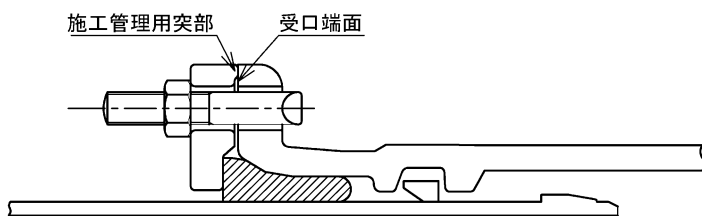
令和 年 月 日

工事名	
工区	
配管図No.	
測点No.	
呼び径・管種	

		監督員

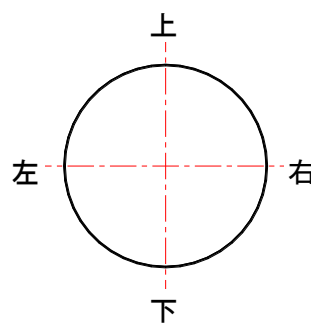


G-Linkを使用する場合



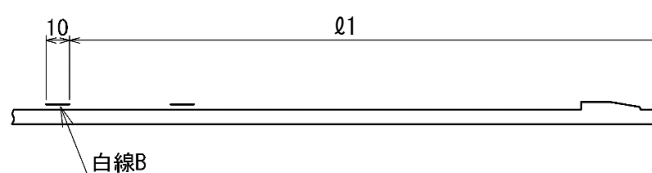
管 No.			
管の種類			
略図			

継手 No.		
挿し口突部の有無 <sup>注1)</sup>		
清掃		
滑剤		
切管挿し口の白線Bの明示		
ゴム輪、押輪またはG-LINKの確認		
爪、押しボルトの確認(G-Link)		
ストッパ、ロックリングの確認		
受口端面～白線の間隔 (L') <sup>注2)</sup>	上	
	右	
	下	
	左	
両挿し口端の間隔(y1) <sup>注2)</sup>	上	
	右	
	下	
	左	
T頭ボルト	本数	
受口端面～施工管理用突部の隙間 ※	箇所数	
	隙間ゲージ確認	
押しボルト	本数	
	トルク確認	
判定		
備考		



単位mm

呼び径	φ1
75	240
100	245
150	265
200	275
250	275



(i) 一方から順次配管していく場合

単位mm

呼び径	L'
75	90
100	95
150	110
200	120
250	120

(ii) せめ配管の場合

単位mm

呼び径	y1
75	190
100	200
150	240
200	250
250	250

施工日	施工会社	現場代理人
		主任技術者

判定基準 ※ 受口端面と押輪またはG-Linkの施工管理用突部との間に0.5mm以上の隙間がないこと。

注1) 挿し口突部の無い挿し口を異形管受口と接合する場合は、G-Linkを使用すること。

注2) 一方から順次配管していく場合にはL'寸法、せめ配管の場合はy1寸法を記入すること。